



学校だより

～ ひびきあう心 かがやく笑顔 ふれあいの丘 斎藤分 ～

令和4年 2月28日 3月号

横浜市立斎藤分小学校 校長 黒木 健

六年生へのメッセージ 「中学校進学への期待とともに」

校長 黒木 健

六年生の皆さん、小学校卒業まで登校日も残すところわずかとなりました。私は、この二年間を皆さんと一緒に過ごさせてもらいました。担任や専科の先生方には遠く及びませんが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施が心配された日光修学旅行など、様々な場面で楽しい時間を共有できたことに、今、心から感謝しています。

皆さんにとって、この小学校生活の六年間は、どんな時間でしたか。楽しいこともたくさんあった反面、つらいことや悩んだことも、きっと同じくらいあったことでしょう。その一つ一つの課題を乗り越えていくたびに、皆さんは、着実に成長してきたのだと思います。でも、悩んだり考えをめぐらせたりすることは、自分自身の考え方の土台を形作っていく上での大切な通過点であって、決して回り道などではありません。中学校に進学しても、挑戦する気持ちを忘れずに、新しい課題にどんどん挑んでいってください。

さて皆さんは、小学校卒業の日を目前に控え、中学校進学への期待と共に、でも一方では、はっきりとしない、漠然とした不安を抱いているという人もいるかもしれません。私も四十年近く前、同じような気持ちにかられながら、その時を迎えたことを、今でも容易に思い出すことができます。当時、先生や友達に自分の思いを上手く伝えることに自信を持てなかった私は、中学校という新しい段階に進むことに、大きな不安を抱いていました。でも大人になってから分かったことは、新しい環境に対して、不安を感じるのは当然だということです。そしてまた、その不安を感じることをどうやって解決していくかを、その時にもっと前向きに考えるべきだったという反省でした。

でも不安を持つことは、決して悪いことばかりではありません。なぜなら、不安を感じることを解決していく度に、自分自身の成長を実感できたり、また次への自信へともつながっていったりするはずだからです。例えば、一度立てた計画は最後までやり通してみるとか、苦手科目でもあきらめずに、コツコツと学習していく姿勢をつらぬくことなどは、一つ一つの不安をなくしていく意味でも必要な行動だと信じています。不安を感じた時こそ、まずは行動に移してみてください。きっと、新しい自分に気が付けるはずです。皆さんには、中学校生活の中で、この「自分再発見」をたくさんして欲しいと願っています。変化の大きな社会の中で、皆さんが活躍されていくことを楽しみにしています。最後に、この斎藤分小学校で、皆さんと出会えてよかったです。ありがとう(^)/

新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置として、当時の安倍首相が全国一斉休校の措置を要請してから、昨日で2年が経過しました。未だ予測困難な状況が継続していますが、その中でここまで何とか無事に来られましたのも、本校保護者及び地域の皆様方のご理解やご協力があったることと、今この一年を振り返っているところです。本当にありがとうございました。次年度も引き続き、本校教育活動への変わらぬご支援を、よろしく願いいたします。 *Thank you for all.*